

# 学校だより

12月号

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成二十九年十一月三十日



## 素晴らしかった音楽会

校長 加納 一好

朝晩の寒さから冬の深まりを感じます。音楽会には大勢の皆様にご来校いただきました。今年一部と二部の入れ替えがありました。皆様のご理解とご協力のおかげでスムーズに進行することができました。ありがとうございます。また、保護者の皆様には衣装の準備や家庭での練習など、様々なご協力をいただきましたこと、重ねて感謝いたします。

音楽会での子供たちの演奏は最高のレベルでした。もし、全国学校音楽会コンクールがあれば金賞をとれる、それくらいの合唱と合奏だったと思います。どの学年も様々な工夫を凝らした素晴らしい演奏でした。

演奏も素晴らしかったのですが、舞台上の態度が立派でした。演奏時間に合わせて来校される方もいらつしやるので、学年ごとに予定の時間に始めました。そのため子供たちは舞台上で待つことになりましたが、待っている間、背筋を伸ばし、動くことなく、もちろんおしゃべりなどなく、集中していました。歌から合奏への準備もきびきびしていました。学年代表の子も言葉をしっかりと覚えて大きな声で言いました。こうした立派な態度があったからこそ、演奏がより引き立ったのだと思います。

もう一つ素晴らしかったのは、児童鑑賞日の全員合唱です。教員の演奏に合わせた、子供たちが「世界がひとつになるまで」を歌いました。曲の最後、ツリーチャイムの音が鳴り終わっての静寂の瞬間、白金小がひとつになったように感じました。保護者鑑賞日には、教員は教室の子供たちへの指導があるので、お見せできないことが残念です。卒業時の謝恩会でも教員演奏をします。で、六年生の保護者の皆様は楽しみにお待ちください。音楽会を通して、子供たち本当に大きく成長しました。音楽会で得た、やればできるという達成感はこちらからの学校生活に生きてきますし、生かしていかなければなりません。

十二月になります。二学期も一ヶ月を切りました。学習の方もしっかりと進め、まとめていきたいと思えます。十二月も保護者会やもちつきなどがあります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 白金クラブ

代表 田坂 亜矢香  
高木 晶子

三年生から六年生を対象にした陸上クラブです。国際陸連、日本陸連の指導資格を持つコーチのもと、平日の放課後にオールラウンドな体力づくりを目標とした活動をしています。

走・投・跳の技術的な練習はもちろん、時には鬼ごっこやしっぽとりゲーム、障害物走なども取り入れ、楽しく活動しています。特にリレーは、毎回とても盛り上がりです。

今年度は八つの大会に出場し、東日本大会第二位を始め、延べ三十五名が入賞、都の強化選手に四名が推薦されました。

陸上競技の楽しさに触れてみませんか。白金クラブは皆さんの参加をお待ちしています。体験も随時受け付けていますので、気軽にご参加ください。

## 白金ドリームス

代表 田渕 智子

体を動かすことが大好きな三年生から六年生の四十六名で活動をしています。主に火曜日・木曜日の朝七時三十分から八時十五分と、月数回土曜日に白金小学校の体育館で練習をしています。角井先生・土屋先生・保護者コーチにご指導いただき、基礎体力とバスケット技術の向上、チームワークを学んでいます。

また、年二回、夏と冬に開催される港区小学校バスケットボール大会に参加しており、品川区チームとの交流戦や、試合練習も行っています。

「うまくなりた」と、朝からたくさんの子どもたちが練習に励み、バスケットを楽しんでいます。いつでも子どもたちの姿を見に来てください。新しい仲間を待っています。

## プラチナタイムについて

特別活動部 高橋 宏佳

プラチナタイムでは、一年生から六年生までの縦割り班を構成し、月一、二回、朝の時間と昼休みに「交流遊び」や、年間二回の「交流給食」を行っています。

今年度は、昨年度に引き続き、七月十八日に縦割り班で「校内オリエンティング」を行いました。それぞれの班で考えた課題のクリアを目指して、校舎中を班で協力して回りました。

みんな考えた課題はとも楽しく、どこも盛り上がりっていました。

「交流遊び」では、各月の遊びの計画から当日の運営まで、全て六年生が行っています。上級生も下級生も楽しめるような遊びを毎回工夫しています。上級生は下級生にルールを教えた声かけたり、下級生も楽しく遊べるように上級生に協力したりといった姿が見られます。

「交流給食」では、班で配膳、食事をともにすることで、より深く親しく交流できるようにします。お世話になった六年生と思い出をつくる「お別れ給食」では、来年度の準備として五年生が中心となって計画・運営をします。

同じ学年の友達との関わりだけでなく、異年齢集団で協力しながら活動を楽しむ、交流を深めることを通して、自主性と実践的な態度の育成を目指します。今後も異学年で交流する機会を充実させていきたいと考えています。

